

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17:30～ 19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	人	人	12 人

前回の改善計画	新規利用者情報は実調時に十分に本人や家族、前ケアマネージャーより伺い早い段階からスタッフにフェイスシートや情報を流す。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の実調、前ケアマネージャーより情報を聞きフェイスシートを作成、スタッフがいつでも確認することが出来た、また細かい情報は連絡ノートに記載し把握に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	5			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	7	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	8			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	7	1		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 始めて施設を利用する利用者に対し不安を取り除くことが第一で声掛けを大事にした、必要としている支援を受け止め利用者の不安ごとを聞き支援することが出来た。また、わからないことは実調者に確認することが出来た。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用が始まる前に利用者や利用者家族との接触が少ないため支援がうまくできない時がある、情報を誤って受け止めたり以前の情報を更新されないまま接してうまく接する事ができない時がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者をイメージしやすい様に実調時写真を撮らせていただく、注意点をまとめ把握し関わりの中で知り得た情報や介助方法はその都度終礼やノートに記載し共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	1 人	人	1 2 人

前回の改善計画	利用者に寄り添いながら本人の自立支援に向けた支援方法をケアマネージャーと一緒に考えて行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	アセスメントをする中で出来る事、出来ない事を把握しスタッフと共有、出来る事を本人に確認して支援を行い、維持することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	4	4		1 2
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	4	5		1 2
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	5	5		1 2
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	4		1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランを把握し利用者本人の残存機能を確認しながら本人の出来る事を見守りし出来ない部分を手伝う事が出来た、また、人生の最期まで健康であり自分で出来る事は最期まで頑張りたい、家族にも迷惑はかけたくないなど利用者にとって様々な思いが関わりの中でありスタッフやケアマネージャーと情報を共有することが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の方が多く本人の希望というより家族の希望が強い、本人の目標がわかってなくどうしたいのか何がしたいのか分からない時がある、忙しさや人手不足などから利用者の思いに反している時があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の～したいがわからない職員がいるため職員会議で話し合いの時間を作る、収集した情報を元に利用者全体で出来る事や利用者個人で出来る事を把握、職員同士で実現が出来る事を決めて準備をして行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画	利用者の自宅生活が可能か生活能力を確認しながら本人が自宅で暮らせる見立てを職員で検討していく
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者や退院して状態が変化した利用者に対し職員同士で在宅生活が継続可能か検討することが出来た、また本人と家族の意向を聞き家族の協力が必要、家族を巻き込み本人が自宅で生活できる環境作りを考え、在宅生活を継続することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	4	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5	1	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	2	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5	1	1	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 朝、夕のミーティングを行い共有出来ている、毎日のケアの中で体調の変化等に気づき看護師に報告し、職員と共有出来た、毎月の会議で介助方法について確認している。 本人の今まで暮らしていた状態様子を理解して少しでもその人らしく生活していくように支援が出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 忙しさから時間に余裕がなく、利用者本人の状況に合わせた、入浴介助が出来ない時がありました。認知症の利用者に対し少しの言葉に反応して不穏になっている時にうまく接することが出来ない時があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 自宅で入浴出来てない利用者に満足して入浴していただけるように職員同士で話し合い利用者のニーズに合わせた入浴方法を共有し支援する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	4 人	2 人	3 人	12 人

前回の改善計画	感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築できるように業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練（シュミレーション）を実施する。BCP
前回の改善計画に対する取組み結果	BCP 計画案作成、職員と感染症や災害が起きた時の動き等の研修を実施することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	2		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	8	2		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		10	2		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	6	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者とその家族が生活しやすい様、納得のいける支援のあり方や今の暮らしに応じて必要なのは何かを考えることが出来たケアマネージャーからの情報や他のスタッフの情報など共有し接することが出来た。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者に必要な地域の資源等の把握が出来ていない、わからない、利用者の地域が広い為関わりが出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域資源の把握と地域資源について勉強会を開催する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	6 人	2 人	2 人	12 人

前回の改善計画	小規模多機能型居宅介護「福寿草」、福寿草やひまわり福祉センターのホームページを立ち上げ、各事業所様へ広く紹介する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ホームページを作成、閲覧出来る事を各事業所に連絡することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	3	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5	1	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	4		1	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	4		1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
随時「通い」「訪問」「宿泊」など柔軟な対応が出来ており、個々の利用者に対しどの様な支援をすれば良いかなどミーティングや職員会議等で話し合いその時々ニーズに合わせた対応がしっかりなされている。当日に急な泊りの連絡があった時でも瞬時のニーズに対応出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の方が求めるもの自宅に帰りたいと話した利用者様に対し少しの時間でも帰ることの出来るようにサポートしたいが出来なかった、本人の変化に正しい判断や対応できていない時があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
認知症の方のニーズに近づけるサービスの提供を考え支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	1 人	3 人	12 人

前回の改善計画	Web による各種研修会に参加や介護福祉士への挑戦をサポートする。
前回の改善計画に対する取組み結果	Web の研修に職員が参加し学んだことを職員会議で発表することができた、介護福祉士受験をサポートする体制を構築した。一名合格することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	6	1	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	4	1	6	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	3	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5	2	5	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域包括支援センターとの地域ケア会議に参加し困難事例の発表し医療、訪問看護師からの意見をいただいて参考にしながら自立にむけた支援を取り組むことが出来ました。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 運営推進会議開催のみ他の会議は参加していない、地域住民等の訪問などコロナ等感染症等もあり以前程オープンではない、避難訓練では職員全体に把握出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域ケア会議に参加したことがないスタッフの参加し支援方法を学び実践で活かす、また運営推進委員会に参加したことないスタッフの参加する
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~19 : 00)

7. 運営

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画	災害への対応は地域連携が不可欠であることを踏まえ、非常災害対策（計画策定、関係機関との連携確保、避難訓練）を実施します。
前回の改善計画に対する取組み結果	合同で避難訓練を行い、参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	9	1	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	5		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	7	2	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者、家族、介護者等の声に傾聴し、サービスの質を上げるために欠かせない大事な事と思って関わりを大切にしています、意見や苦情等を求められた場合重く受け止め二度と起こらない様会議等で話し合い対策対応出来ている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方の意見等よく理解していない、関わる機会がなかった、事業所のあり方として意見を伝えることが出来なかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 薬師の湯、尾篋地区、福寿草合同避難訓練に参加していないスタッフを参加する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	2 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画
新卒者や中途採用で資格のない職員には認知症介護基礎研修に参加していただく、また、早い段階で県の支援を受けながら介護職員初任者研修に参加させて資格取得を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
中途採用で資格がない職員に介護職員初任者研修を受け資格取得を目指したが取得できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	4	2		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	3	2	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	1	5	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	5	1	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	リスクマネジメントとしてヒヤリハットを記入している、記入した内容を会議で共有し特に危険な場面を話し合う事が出来た、職場内研修では担当を決めて会議での研修を行いスキルアップすることが出来た。また、資格取得のため研修に行く事が出来た。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	職員内でコロナウイルスに感染者が出てしまい人員不足により研修や地域連絡会に参加が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	オンライン研修や職員が受けてみたい研修、受けてほしい研修を積極的に受けケアの質の向上を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 21 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	1 人	2 人	12 人

前回の改善計画	法人として虐待の発生・再発を防止するための委員会の開催、指針の整備、研修実施・担当者を定めるなどを整備する。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待再発防止委員会を立ち上げ担当者を決め研修会を実施することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2			12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	6	4	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	6	1	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日頃から職員同士で虐待について話し合い、所内研修等で身体拘束などの定義を理解し拘束虐待等の行為は行われていない、本人のプライバシーを守る事も研修を通して周知する事で守る事出来ている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の排泄等や利用者の体調の情報を共有のため大声で話している時がある、利用者の前で他の利用者の話しをしている職員がいました。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者の近くで他の利用者の情報を話さない、職員同士で注意し合いプライバシーを守る。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 白石ひまわり	代表者	理事長 谷津 伸仁	法人・ 事業所 の特徴	事業所は白石温泉薬師の湯、建物の3階部分に位置し日当たりと緑に囲まれた場所に居間や宿泊棟が配置し、施設の敷地内に桜や梅、イチョウなどの花木も多く四季を感じ楽しみながら散歩もできます。事業所内では季節の行事に合わせ折り紙で作成し掲示する、その前で写真を撮りご家族に見て頂いています。 利用者様が住み慣れた地域での生活が続けられるように通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ自立した生活を続けられるように支援します。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所福寿草	管理者	永倉 朋和		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	(書面) 1人	人	(書面2名)4人	人	人	人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	1、夜勤も同じ職員が対応でき、ご利用者の不安を少なくできるように夜勤スタッフを確保する。 2、職員のスキルアップのため人権擁護、虐待防止委員会の開催、各種研修会への参加、介護福祉士資格取得支援を行う	1、夜勤の職員確保するためハローワークに求人を出している、1名採用でしている。 2、職員の外部研修として積極的に研修を受けたまた、オンライン研修も活用しスキルアップにつながった。	介護保険で行っている取り組みがわからない。 サロンなど地域で行っている情報がわからない為情報を調べてみてはどうか	定期的な実践評価を行い情報の収集、整理、発信しスタッフの意識を高めケアの質の向上を目指す
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策委員会を立ち上げ新型コロナウイルス感染症対策や他の感染症についても季節などを考慮しながら感染予防や事業所で感染症が発生した場合の対策などを研修や実習など行っていく	感染症対策委員会を立ち上げ研修会を開くことが出来た、職員が新型コロナウイルス感染症に感染したが利用者様に拡大しなかった	コロナ感染症対策がしっかりなされている。	・コロナが5類に移行しても事業所の設備の消毒や換気を続ける。 ・利用者様の来所や来客が着た際、玄関に季節を感じられる飾り付けを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	白石温泉薬師の湯の中にひまわり福祉センターや小規模多機能型居宅介護「福寿草」の紹介用のポスター掲示を行う。	温泉の入り口にひまわり福祉センターや小規模多機能型居宅介護「福寿草」の紹介用のポスター掲示することが出来た。	地域での行事は行っていません。	地域の行事やイベントが開催される時に利用者様と一緒に参加したい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	社会福祉法人白石ひまわりや小規模多機能居宅介護「福寿草」のホームページを立ち上げ地域の居宅介護事業所や民生委員の皆様にもホームページを紹介し事業所を知って頂く。	社会福祉法人白石ひまわりや小規模多機能居宅介護「福寿草」のホームページを立ち上げ福寿草を紹介することが出来た。	意見は特になし	地域からの相談があった際、地域包括支援センターと協力し地域で困っている方の相談を聞き解決策を考えていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進委員の皆様の見解をいただきながら、事業所として発展できるように意見や助言をいただきたいと思ひます。	運営推進委員の皆様の見解をいただきながら、事業所として発展できるように意見や助言を頂きことが出来た。	地域で関わりたいが個人情報のためなかなか深いところまで聞くことができない。	運営推進会議に参加したことがないスタッフに参加していただく
F. 事業所の防災・災害対策	尾籠地区の皆様との連携を行いながら法人として法人をして事業継続計画（BCP）災害対策本部組織体制を整備し連携体制の確保や避難訓練等を行う。	尾籠地区、薬師の湯、福寿草合同避難訓練は年二回行うことが出来た、尾籠地区の消防訓練に職員が参加できなかったため次回参加していきたい。	意見は特になし	前回の尾籠地区消防訓練に参加できなかったため参加する。

